

7. 海外研修アンケート集計結果

田中 博

多くの参加者が、研修の目的やテーマの達成度について「十分達成できた」「ほぼ達成できた」と回答しており、研修内容への満足度は高い。文献を読むだけでなく NGO-JICA のプロジェクト現場を訪問し、直接関係者や住民から聞き取り調査を行い考察したことが、達成感に繋がっていると考える。「何をもって終了と判断するのか」のみ満足度がやや低い、課題そのものが難しく、短い期間では十分吟味できなかったということだろう。

またこの「直接調査したこと」が、国内研修で“頭”で学んだことを、海外研修で“身体”で実感し、より深めていく連続した効果を実現できたのだと思う。国内から海外に至る1ヶ月の間に、議論の整理や聞きたいことの発案など宿題をこなしたのも、事前準備として適切であったといえる。

しかしながら、「直接調査」のメリットが「スケジュールがきつすぎた」という感想にも反映している。フィリピンは比較的インフラなど充実しているが、開発途上国では交通・通信機関は未整備な場合が多い。複数の事業を訪問し、多くの面会を行うとなると、どうしても移動や連絡などで時間的制約が強くなる。若い参加者も日中は移動と調査、夜は議論とまとめ、という日程は大変だったようだ。そんな中、参加者で点呼や記録など係りを分担して個人の負担を減らしたことは、賢明な判断だった。今後参考にしたい。



元 CCWA プロジェクト現場

NGO-JICA相互研修（海外研修）参加者アンケート集計結果

I. 研修の目的やテーマの達成度について				
今回の研修で学びたかったことはどの程度達成されたと思いますか？	十分達成できた	ほぼ達成できた	不十分	達成できなかった
1. パートナーの選び方・基準。	3 (人)	5	4	-
2. パートナーとの関係のあり方、オーナーシップを持ってもらうにはどうしたら良いか。	5	4	3	-
3. 終了のイメージはどの時点で持つべきなのか。途中からでも良いのか。	5	4	3	-
4. 何を持って終了と判断するのか。終了の指標は？ 達成していない場合はどうするのか。	-	8	3	1
5. 終わることの出来るシステムとは。それはどうしたら出来るのか。	3	6	2	1
6. 自立発展性の具体的なイメージを持つ。	5	7	-	-
II. 国内研修とのつながりについて				
1. 国内研修と海外研修の関連性。	国内研修に参加したから海外研修を充実することができた	少しは関連性を感じた	あまり関連性を感じなかった	
	11 (人)	1	-	
2. 海外研修がなく国内研修だけでも同じ成果・学びが得られたと思いますか。	国内研修だけでもほぼ同じ	海外研修で少し深められた	海外研修に行ったからこそ深められた	その他
	-	-	12	-
III. 事前準備について				
訪問プロジェクトについての事前情報の内容・量は適当でしたか。	ほぼ適当	多すぎる	少なすぎる	/
	9 (人)	-	3	
IV. 海外研修のプログラム内容について				
現地でのスケジュール全体は妥当でしたか。	ほぼ妥当		きつかった	
	2 (人)		10	
V. 運営・実施方法について				
	適当		あまり適当でない	
	11 (人)		1	
1. 海外研修の実施時期は適当でしたか。	11		1	
2. 研修の期間（全体で9日間）はいかがでしたか。	12		-	
3. 研修生の人数はいかがでしたか。	12		-	
4. 班分けはいかがでしたか。	12		-	
5. 宿・食事・車・フライト等はいかがでしたか。全体的な満足度をお書き下さい。	満足	普通	やや不満	不満
	8	4	-	-
6. 研修生に担っていただいた係はいかがでしたか。	特に問題ない		問題あり	
	12		-	

VI.今後の取り組みについて				
来年の研修で取り上げたら良いと思うテーマはありますか。	評価	NGOとJICAの連携について	1～6回の研修の振り返り	その他・無回答
		3 (人)	2	1

以下、コメント（抜粋）

Q.一番使えそうな学びや教訓はなんですか。

- プロジェクト実施中のモニタリングの必要性。モニタリングにより軌道修正。
- プロジェクト期間の設定,見直し期間の設定を事業計画に反映する事。
- NGO、JICAお互いの利点を活かした連携の必要性。
- 人的要素の大きさ。人材の育成と定着の大切さ。
- プロジェクトを実施する際に住民やC/Pに終了後のイメージを持ってもらうこと、そのために必要なシステムを作り上げることの重要性。

Q.今回の研修の目的のうち、達成できず残念なことはなんですか。

- 草の根技術協力への反映にまでは十分議論できなかった。
- パートナーの選定基準について具体的なクライテリアがわかれば、と思っていたが未消化。
- 終了の指標、終わりそうにないプロジェクトの終わらせ方。

Q.海外研修だからこそ特に深められた・得られた学びはありますか。

- 国内研修とほぼ同じ結論となったが、自分の目を見て、自分たちで導き出したことに意味がある。
- 理想論を自分の経験でのみ語るのではなく、実際に行われていることを客観的に見たことにより具体的な学びにつながった。

Q.事前準備、事前研修について。

- 資料はもう少し早くほしかった。
- プロジェクト自体の情報だけでなく、フィリピンの行政組織等バックグラウンドの情報もあると良い。
- 宿題があったため、国内研修の復習・問題点の整理など効率的に海外研修をこなせた。
- 時間は短かったが、日程上仕方がない。
- 資料の読み込みが足りなかった。

Q.海外研修日程の改善点。

- 議論時間を夜にせず、夕食で切りをつける。
- せめて1日中日をはさむ。
- この日程では難しいのは承知の上。

Q.研修全体に関するアドバイス、コメント。

- 同行者のおかげで研修に集中できた。研修の進め方、アドバイス等が大変適切だった。
- ハードなスケジュールであることから、早朝の準備のためにもホテルはシングルがよい。
- 移動が多い。
- 通訳は必要なかったが、プロジェクトの解説者がいるとありがたい。
- 専門用語は通訳なしではつらい。
- もう少し研修生に役割を渡しても良いのでは。

Q.その他、次回への提言・改善点など。

- 毎日の振り返りミーティングをすべきだった。
- 今回、パソコンの必要性が高かったが、持ってきている人は少なかった。先に連絡がほしかった。
- 日程その他の連絡について、もう少し早めに教えてほしい。